

第3号議案 令和元年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第4号）

【目次】	(予算説明書頁)	(資料頁)
[1款 グラバー園費]		
1・1・1 グラバー園管理費		
1 グラバー園管理費		
1 旧グラバー住宅展示整備費	16~17	1~2
2 基金積立金		
1 観光施設整備基金	16~17	1~2
3 【補助】耐震化推進事業費		
1 旧長崎地方裁判所長官舎	16~17	3~5
《繰越明許費補正》		
【補助】耐震化推進事業費		
旧長崎地方裁判所長官舎	18~19	3~5
[2款 ロープウェイ費]		
2・1・1 ロープウェイ事業管理費		
《繰越明許費補正》		
【単独】ロープウェイ施設整備事業費		
ロープウェイ設備整備	18~19	6~7

文化観光部  
令和2年2月



予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
頁	款	項	目	番号		
16 ～ 17	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	1-1	旧グラバー住宅展示整備費	千円 ▲ 3,929
16 ～ 17	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	2-1	基金積立金 観光施設整備基金	千円 3,929

### 1 概要

旧グラバー住宅保存修理工事等に合わせ、「旧グラバー住宅保存活用計画」に基づき、旧グラバー住宅の展示内容をリニューアルし、世界遺産の構成資産としての価値やグラバーの偉業をわかりやすく伝える内容にすることにより、施設の魅力向上を図るため展示設計業務委託を行うこととしていた。

しかしながら、発注方法の変更や旧グラバー住宅保存修理工事の工期延長により事業計画を変更し、来年度に事業を実施することとしたため、展示設計に係る経費を減額する。

また、それに伴い、観光施設事業特別会計における収支を調整するため、観光施設整備基金への積立金を増額する。

### 2 事業内容

- (1) 旧グラバー住宅展示設計業務委託料 3,929千円
- (2) 委託期間 令和元年10月～令和2年2月(5か月間)

### 3 財源内訳

- (1) 旧グラバー住宅展示整備費 (単位:千円)

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前	3,929	—	—	—	3,929	—
補正額	▲3,929	—	—	—	▲3,929	—
補正後	0	—	—	—	0	—

※グラバー園利用料金受入金

- (2) 観光施設整備基金 (単位:千円)

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前	39,057	—	—	—	39,057	—
補正額	3,929	—	—	—	3,929	—
補正後	42,986	—	—	—	42,986	—

※グラバー園利用料金受入金

#### 4 展示内容の整備

##### (1) 展示方針

ア 世界遺産の構成資産としての価値を示す（建物の価値）

世界文化遺産の構成資産としての価値を正しく伝達できるよう展示を行う。

イ グラバーの偉業や暮らしぶりを示す（建物の役割）

グラバーの偉業や旧グラバー住宅と居留地の関係性について展示を行う。

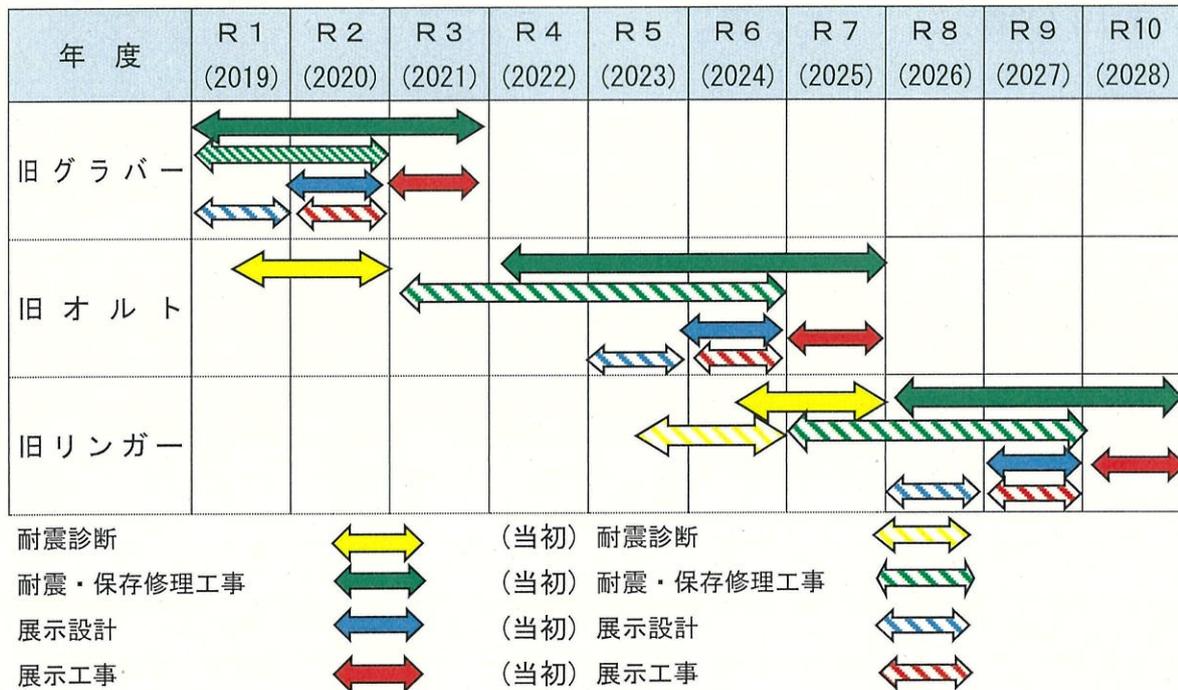
ウ 学びの場としての活用

グラバーが我が国の造船業や炭鉱産業に果たした役割を通して、近代化産業遺産の価値を学ぶ場として活用する。

##### (2) スケジュール

旧グラバー住宅も含め、園内の国指定重要文化財3邸の耐震補強・保存修理工事に合わせ、「保存活用計画」に基づき展示内容の整備を行うもの。

スケジュール（案）



予 算 説 明 書 【繰越明許費】					事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目	番号		
16 ? 19	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	3-1	【補助】耐震化推進事業費 旧長崎地方裁判所長官舎	千円 7,800

### 1 事業の概要

グラバー園旧長崎地方裁判所長官舎の利用者の安全性確保を目的とし、建物の耐震診断及び耐震補強等実施設計を行うもの。

### 2 事業内容

旧長崎地方裁判所長官舎耐震診断・耐震補強等設計業務委託 7,800千円

### 3 財源内訳

事 業 費		財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
補正額	千円 7,800	千円 3,900	千円 0	千円 1,300	千円 2,600	千円 -

### 【繰越明許費】

事 業 費		財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
補正後の額	千円 7,800	千円 3,900	千円 0	千円 1,300	千円 2,600	千円 -
繰越明許額	千円 7,800	千円 3,900	千円 0	千円 1,300	千円 2,600	千円 -

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率 1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/5

※3 公営企業債 充当率 100%

※4 観光施設整備基金繰入金

#### 4 事業実施の必要性とその効果

##### (1) 必要性

旧裁判所長官舎は、グラバー園を訪れる多くの市民や観光客などが利用している建物であり、利用者の安全性を確保するためには、耐震性能を確認し、必要に応じた耐震化整備を行う必要があることから、耐震診断及び耐震補強等実施設計を行う。

##### (2) 効果

耐震化整備を行うことにより、利用者の安全性の確保が図られる。

#### 5 施工スケジュール（案）

令和元・2年度 耐震診断・耐震補強等実施設計

令和3年度 耐震補強工事

#### 6 園内配置図



7 グラバー園内の重要文化財等建造物の保存修理スケジュール（予定）

年度	旧スタイル 記念学校	旧ウォーカー 住宅	旧グラバー 住宅	旧長崎地方裁判 所長官舎	そのほかの 建造物
平成29年度	耐震補強等工 事				文化庁等との協 議のうえ、保存 修理の方針や財 源の裏付けを確 認した後に、順 次、耐震診断・ 設計、保存修理 のスケジュール を立て実施して いく予定。
平成30年度		耐震補強等工 事	保存修理工事		
令和元年度			保存修理工事	耐震診断・設計	
令和2年度			保存修理工事	耐震診断・設計	
令和3年度			保存修理工事	耐震補強等工事	

8 繰越の理由

国庫補助の交付決定が2月となることにより、耐震診断及び耐震補強実施設計が年度内に完了しないため。

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許費
頁	款	項	目		
18 ～ 19	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	【単独】ロープウェイ施設整備事業費 ロープウェイ設備整備	千円 9,400

### 1 事業の概要

長崎市の夜景観光の代表的なスポットである稲佐山に設置している長崎ロープウェイにおいて、経年使用により老朽化してきている設備の交換を行うことにより、利用者の安全確保を図るもの。

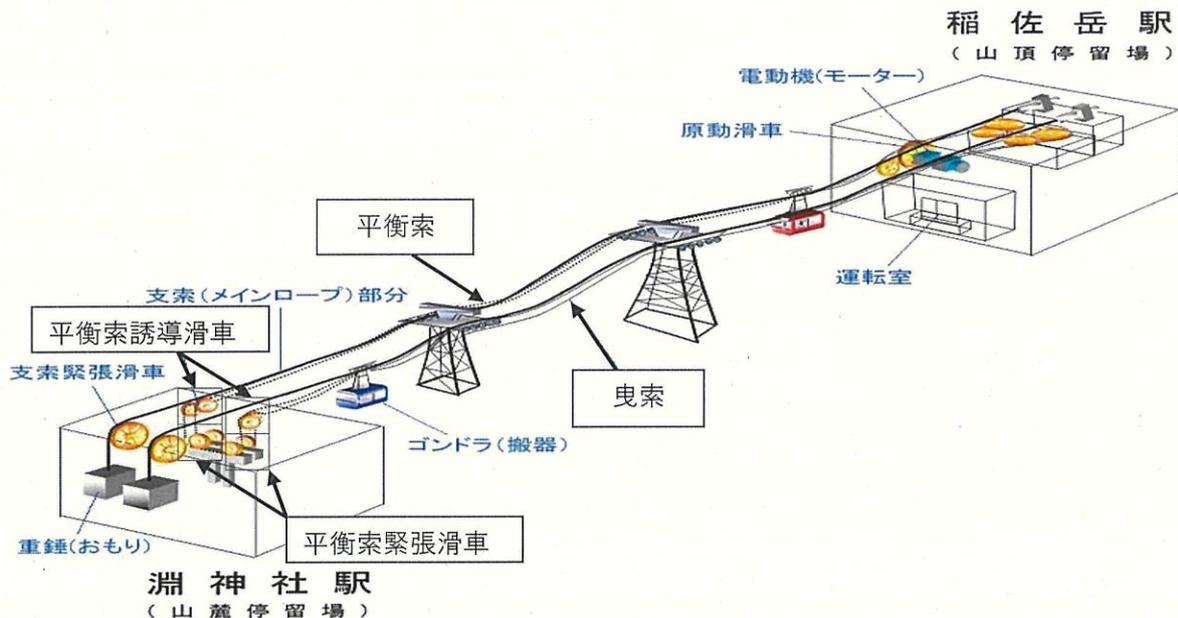
### 2 繰越明許費

金額		財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
予算現額	千円 9,400	千円 -	千円 -	千円 2,800	千円 6,600	千円 -
支出予定額	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
繰越明許額	千円 9,400	千円 -	千円 -	千円 2,800	千円 6,600	千円 -

※1:ロープウェイ施設整備事業債 充当率30%      ※2:観光施設整備基金

### 3 工事名称 長崎ロープウェイ曳索・平衡索交換ほか整備工事

### 4 施工箇所



(交換部品)

	名称	数量
1	曳索	1本 (2,340m)
2	平衡索	1本 (2,320m)
3	平衡索誘導滑車用ゴムブロックライナー	960個
4	平衡索緊張滑車用ゴムブロックライナー	960個

5 繰越の理由

施工業者との調整の結果、今年度の前金払いの必要がなくなったことから、翌年度への繰越を行うもの。

6 参考

全体事業費

年度	当初	補正後
令和元年度	9,400千円	0千円
令和2年度	14,100千円	23,500千円
合計	23,500千円	23,500千円